

## 平成 27 年度知床岬赤岩地区羅臼昆布エコツアーモニターツアー実施状況

### 【1日目】

参加者とガイドが交流し、資料(赤岩地区番屋地図・航路・羅臼昆布今昔比較図、羅臼昆布むかしむかし、スケジュール)を配布。自己紹介し2日間流れを説明。

#### ①羅臼ビジターセンター

映像視聴、館内のジオラマや標本を使用し、知床についてガイドがレクチャーした。環境省発行の「知床国立公園」を使用し、先端部利用の心得等について学習。



#### ②昆布倉庫見学

水産物鮮度保持施設(通称昆布倉庫)において、羅臼昆布の特長や漁業の手法、製品化の過程について、ガイド及び漁業者の井田一昭氏(写真内鉢巻をしている)による解説により学習。倉庫内の備蓄倉庫内も見学。



#### ③現代番屋見学

礼文町にある昆布漁業者川口昭氏の現在使用している番屋を見学し、乾燥小屋の仕様や番屋内部の温湿度管理の仕組み・機械化についてガイドが解説し学習した。川口氏がかつて赤岩に移り住み昆布漁業を行っていた時の当時の暮らしとの今の暮らし・漁の比較を交えて説明した。



2日目の注意事項、装備、天候状況等を改めて説明し、質問に応じて解散。

## 【2日目】

### ④船外機移動

ホテル出発時、ガイドがツアーによる参加者の服装の点検を行い改善した。

相泊港において、船頭と登録ガイドの紹介、赤岩地区までの航路、移動中の注意事項を説明した。トイレ案内、参加者の体調確認。外来種持ち込み防止の取組について必要性を説明し、全員が靴裏洗浄した。



知床の自然及び各地域の特徴、羅臼町で行われている様々な漁について解説しながらの移動。天然昆布漁、養殖昆布漁、小定置網漁は現場を見学しながら解説した。箱メガネでコンブの生育状況を観察。



### ⑥赤岩地区最古の長谷川番屋見学

赤岩上陸後、地域の特性を再度説明。赤岩で現在移り住んで昆布漁をしている小倉番屋について紹介(同時にヒグマ等の情報交換)。行動・携帯トイレ・ヒグマ対策について注意事項を説明・実演し、礫浜を1列になって移動。道中2か所で、赤岩地区の植生・昔の写真を用いて浜の形状の変化について学習。長谷川番屋前にて当時の昆布漁について解説。長谷川番屋内では、登録ガイドが当時の暮らしや苦勞・楽しみなどを語った。赤岩に移住している小倉氏と情報交換し出港。



ルサフィールドハウスにて、振り返り。アンケートに回答していただいた。ツアーで確認したトレッカー、ヒグマ、オジロワシについてルサフィールドハウスに情報提供した。